

令和7年1月度・その他の安全分析検査結果について

大庄グループ店舗で新規に取り扱いを検討している食材、及び取り扱っている食材を対象に、総合科学新潟研究所が指定して下記の項目について分析を実施した結果をご報告致します。

【重金属分析結果】

使用食材6点を指定し、重金属4種類の分析を行った結果、すべて安全性に問題のあるレベルの検出はなく、安全性を確認致しました。

【防カビ剤分析結果】

使用食材3点を指定し、防カビ剤9種類の分析を行った結果、すべて基準を大きく下回っており、安全性を確認致しました。

【着色料分析結果】

使用食材3点を指定し、着色料12種類の分析を行った結果、すべて検出せず、大庄基準が守られていることを確認致しました。

分析結果（詳細）

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

1 重金属分析結果

(mg/kg)

No.	品 目 名	産 地(加工地)	検出重金属	分析値
1	もやし	千葉	検出なし	—
2	バナナ	フィリピン	検出なし	—
3	にんじん	長野	検出なし	—
4	冷凍カキ	韓国	ヒ素 カドミウム	2.6 0.5
5	冷凍枝豆	中国	カドミウム	0.1
6	豚バラ肉	EU	検出なし	—

【検出された重金属の説明】

〈ヒ素〉 カキにおけるヒ素の国内基準及び国際基準はありません。国立医薬品食品衛生研究所のヒ素の実態調査結果の文献調査と比較したところ、今回検出した2.6mg/kgは、カキに通常含まれる水準の検出であることから、安全性に問題はありません。

〈カドミウム〉 ① カキにおけるカドミウムの国内基準及び国際基準はありません。カキは除かれていますが、CODEXの定めた国際的な基準の海産二枚貝（カキ、ホタテガイを除く）の基準2mg/kgと比較しても、十分に低いことから、安全性に問題ないと判断しました。
② えだまめにおけるカドミウムの国内基準はありませんが、CODEXの定めた国際的な基準内であることから、安全性に問題はありません。

2 防カビ剤分析結果

(g/kg)

No.	品 目 名	産 地(加工地)	検出防カビ剤	分析値	使用基準
1	バナナ	フィリピン	検出なし	—	—
2	パイナップル	フィリピン	検出なし	—	—
3	レモン	チリ	アゾキシストロビン イマザリル フルジオキシニル	0.001 0.0013 0.001	0.010 0.0050 0.010

3 着色料分析結果

No.	品 目 名	加 工 地	検出着色料
1	中華麺	日本	検出なし
2	ロースハム	日本	検出なし
3	もみじおろしの素	日本	検出なし

<参考>

【重金属分析】

- 重金属分析は、ヒ素、カドミウム、水銀、鉛を対象とし、分析を行っています。
- 重金属については、食品に対する国内の基準がないものも多いため、健康への影響を考慮し、国際的な基準に照らし、安全性を確認します。

【防カビ剤分析】

- 防カビ剤分析は、国内で認められている9種類（オルトフェニルフェノール、イマザリル、チアベンダゾール、ジフェニル、ピリメタニル、フルジオキシニル、アゾキシストロビン、プロピコナゾール、ジフェノコナゾール）を対象とし、一斉分析を行っています。
- 防カビ剤は、輸入かんきつ類等に多く使用されていて、大量に摂取すると健康への影響が懸念されていることから、食品添加物の残留基準に照らし、使用基準を超えていないかを確認します。

【着色料分析】

- 着色料分析では、12種類（赤2号、赤3号、赤40号、赤102号、赤104号、赤105号、赤106号、黄4号、黄5号、青1号、青2号、緑3号）の着色料を測定対象として、分析を行っています。
- 分析対象の着色料は、大庄基準で使用不可としているため、混入がないか分析をして確認しています。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。